

学校だより

かさっ子



平成24年

12月21日

No. 11

文責 中村富英

ふれあい参観 ご協力ありがとうございました。

12月9日(日)は寒い一日でしたが、内容は学校、家庭・地域の方々がふれあい、人のつながりを感じた心温まる一日となりました。



(持久走大会)

10人の子ども達全員が今までの練習の成果を出し切り、記録更新をすることができました。たくさんの方々の応援があったのも大きな励みになったのだと思います。

(収穫祭)



4月13日の田植えから、稲刈り、いね干し、脱穀、精米、炊き出し、餅つき、食事、そしてお祭り・・・と人が食べるため、生きるために何百年、何千年続けてきたことを体験することができました。私が感じたのは、この一連の作業をお手伝いしていただいた方々を子ども達はみんな知っているから、このつながりを単なる作業工程としてはなく、人のつながりですっかり学習したのではないかと思います。

余談ですが、蒸し上がったばかりの餅米をひとつかみ、どうぞ!と言われ、いただきました。最高でした。うまかったなあ!



お知らせ

本校のホームページアクセス数が1万人を突破しました。
これからも、がんばります。

笠祇小学校に赴任して

笠祇小学校に赴任して、早いもので9ヶ月が過ぎようとしています。

3月31日に引っ越し、串間に着くと、PTA会長さんをはじめ保護者の方々、子ども達が手伝いにきていただき、「ありがたいなあ」と思ったことを、つい昨日のように思い出されます。そして、次の日は奴久見地区の花見会、次の週は古竹、笠祇地区の花見会に招待していただき、子ども達のエレキバンド、てべす踊り等々、感動の毎日でした。

そして、4月9日(月)の新任式、始業式では10人の子ども達全部を知っている、その上、保護者や地域の方もほとんど顔を合わせている状態でした。ですので最初から安心した状態でスタートをきることができました。それと同時に保護者、地域の方々の学校へかける期待や思いの大きさを感じ、私自身の職責の大きさも感じさせられました。全部の子ども達と保護者、地域の方々を知ってる状態で始業式を迎えられることは、大きな学校では考えられないことです。

まず、顔を合わす、話をする、ことの大切さを笠祇の方々から教えられたような気がいたしました。

それから、教育活動が始まり、いろいろなことが展開されました。その一つ一つが子ども達、職員、そして私自身の忘れられない思い出です。今までの教育活動にご協力いただき、誠にありがとうございました。

純朴なかさっ子10人プラス2人のために、全職員でがんばっていきますので、来年もどうぞよろしくお願いいたします。



よいお年をお迎えください。